

# 待鳳だより (特別号)

平成 26 年度全国学力学習状況調査の結果

平成 26 年 11 月 5 日

京都市立待鳳小学校 校長 中野洋

今年 4 月 22 日に、全国の 6 年生を対象に実施された「全国学力学習状況調査」について、その結果がまとまりました。本調査は、国語と算数の 2 教科のテストと、学習時間や家庭での過ごし方などを問う調査も実施されました。調査結果の概要と本校 6 年生の児童の様子についてお知らせします。

## 結果の概要(国語・算数)

国語の A 問題・B 問題、算数の A 問題・B 問題ともに、全国平均を上回っていました。しかし、京都府、京都市の平均と比べると、国語では若干上回っているものの、算数ではやや下回っていました。中でも、基礎的な学力を問う算数 A 問題では、1 ポイント以上下回る結果となりました。

## 国語科の結果

国語科では、書く能力と読む能力、言語についての知識・理解については全国平均、京都市平均を上回っており、日常のノートや日記指導、図書室の利用や図書ボランティアの方の読み聞かせや朝読書などの取組が関わっているのではないかと思います。

一方で、話す力・聞く力については、A 問題で約 10 ポイント、B 問題でも数ポイント、全国平均、京都市平均から下回っていました。授業中や全校集会の場では、きちんと人の話を聞く姿が見られるのですが、人の話を考えながら聞いたり、自分の考えを人に分かりやすく伝えたりすることに課題があることが分かりました。今後、授業中をはじめ、色々な場面で、話す・聞く力を育てる取組を工夫していきたいと思っています。

## 算数科の結果

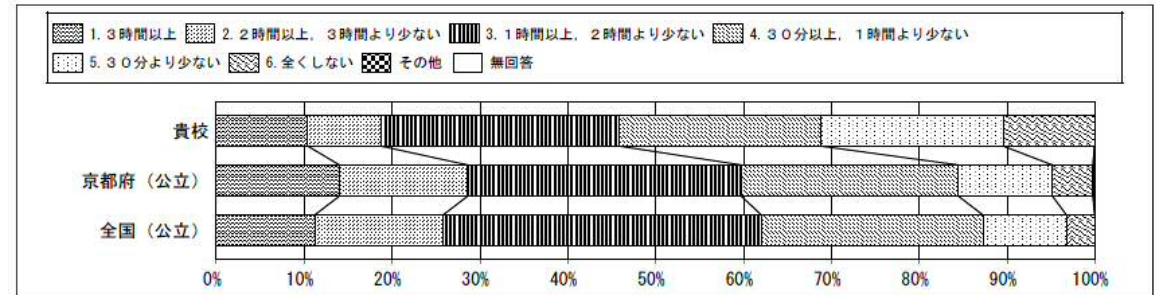
算数科では、数学的な考え方については、全国平均、京都市平均ともに上回っていました。ノート学習を中心に、自分の考えをもつことを大切に算数の学習を大切にしてきた成果ではないかと思います。

しかし、計算や作図などの数量や図形についての技能や知識・理解の面で、全国・全市の平均を下回る結果でした。計算タイムや宿題プリントをはじめとして、基礎的な技能の習熟に向けた取組を進めているのですが、それが結果として表れてないと言えます。計算や作図などの技能や、数量や図形の基礎的な理解を確実に図るために、学習時間や計算タイム、家庭学習での取組などを充実させていかなければならないと思います。

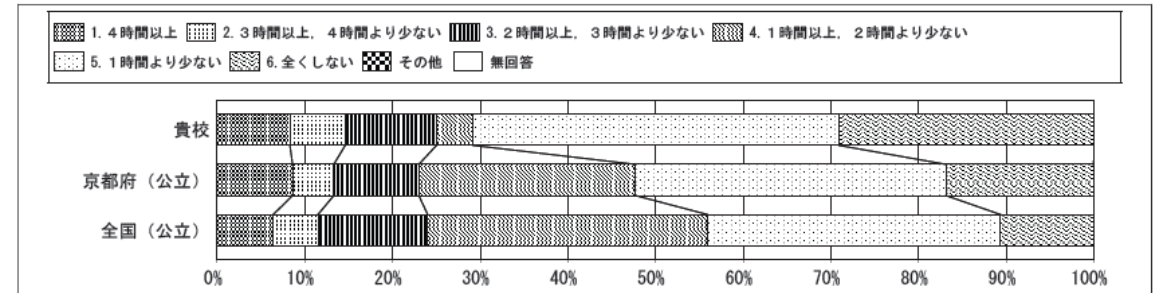
## 児童質問紙の調査から

児童質問紙の調査結果が、全国や京都府の児童の様子と本校児童の様子が違うものについて考えてみました。

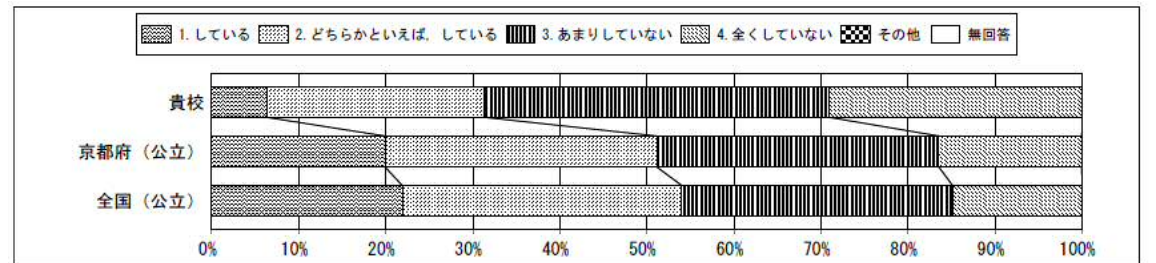
Q 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む)



Q 土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む)



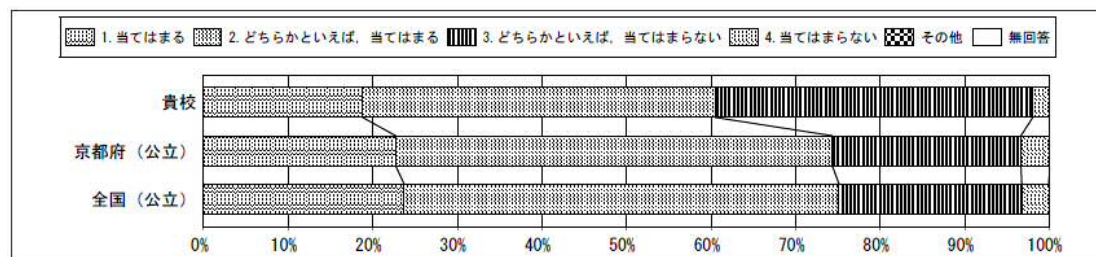
Q 家で、学校の授業の復習をしていますか



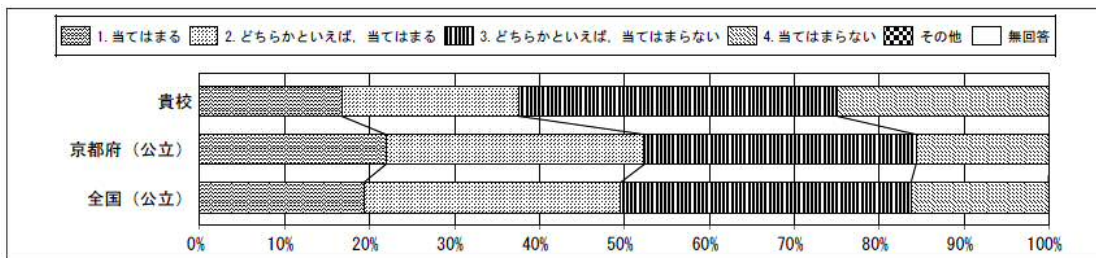
本校の子どもは、家に帰ってからの学習時間が、全国や京都府と比べてかなり少ないようです。調査結果には塾等で学習する時間も含まれてはいますが、やはり、学校の授業時間だけの学習では、学習したことが十分に身に付いていかないと思います。家に帰ってからも、しっかりと学習するように取組を進めていくことが大切です。



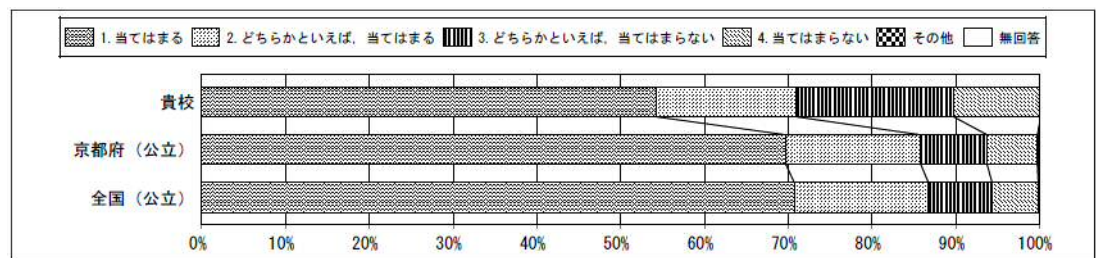
Q 難しい事でも、失敗を恐れないで挑戦していますか。



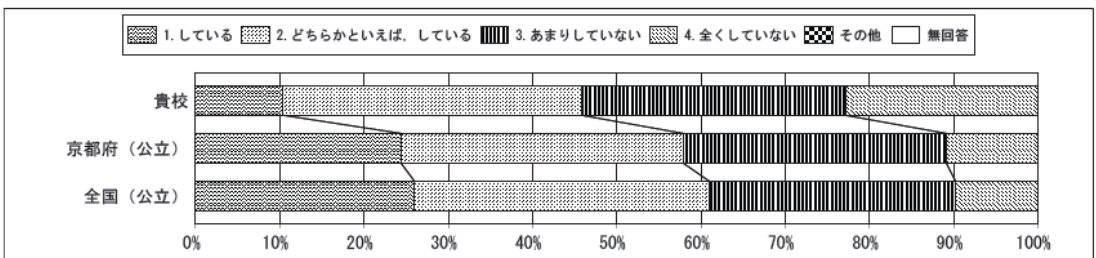
Q 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。



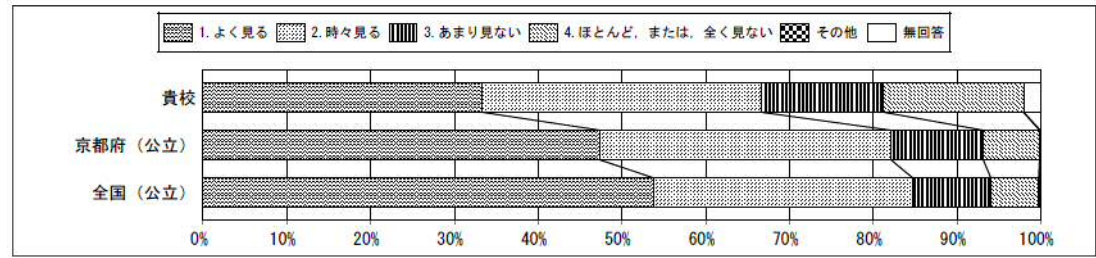
Q 将来の夢や目標を持っていますか。



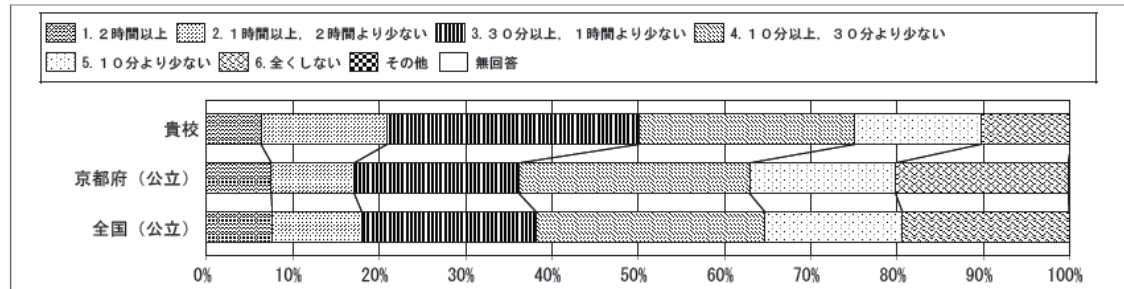
Q 家で、自分で計画を立てて勉強していますか。



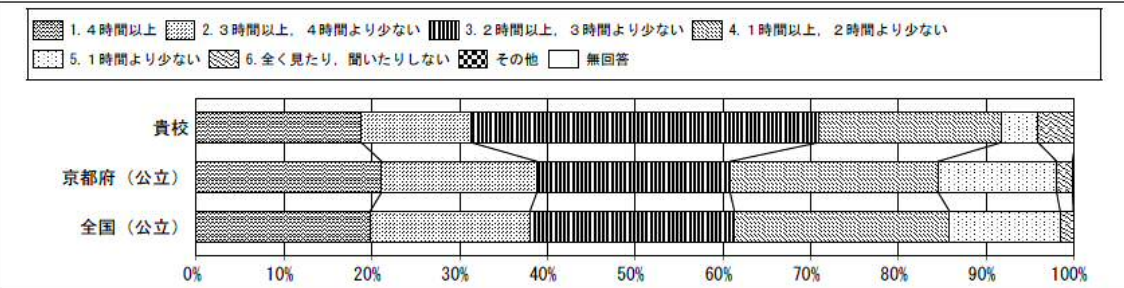
Q テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか



Q 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、読書を読みますか。



Q 普段(月～金曜日)、1日あたりどれくらいの時間、TVやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。(TVゲームをする時間は除く)



朝の読書タイムがあるため、授業時間外の読書時間は多いです。また、TVなどを2～3時間見ている子ども7割以上も見られ、少し長いように思われます。

本校児童の特徴として考えられることは、決まりや人に言われたこと、友達との約束などはきちんと守ろうとする真面目な姿が見られます。しかし、自分の意見や考えを発表することや、失敗を恐れず挑戦すること、夢に向かって取り組むことや自分で計画を立てて取り組むことなど、自ら進んで物事に取り組んでいこうとする主体性に弱さが見られるようです。

全体を通して

本校では、「めあてを持ち、自ら考え行動する子の育成」を学校目標に据え、特に「主体的に学び合い、自分の考えを持ち、豊かに伝え合おうとする子」を目指して取り組んでいます。授業では、ノート指導を充実し、話し合う力に特に重点をおいた指導に取り組んでいます。また、読書タイムや計算タイムを使って、読書に親しみ、算数科の基礎的な力の育成を図っています。さらに、家庭学習の充実を目指して学習予定表の活用を行っています。しかしながら、これらの取組の成果が十分に表れていないと考えられます。自分のめあてをもち、いろいろなことに自ら進んで取り組んだり挑戦したりする積極性に弱さが見られ、また、基礎・基本の力を身につけさせる帯タイムの活用や家庭学習が、十分にできていないと考えられます。

子ども達の確かな学力の向上に向け、これらの点を踏まえ、日々の学習指導の改善、朝と昼の帯タイムの充実、家庭学習の充実などに、しっかりと取り組んでいきたいと考えています。そのために、ご家庭からのご支援、ご協力もよろしくお願いいたします。